



施工途中に「やっぱり追加したい！」と急遽オーダーした廻りどたつ。以前から使っていた馴染みのテーブルをアレンジして作ってもらった

ん。子供たちが成長し、次に引越す際には、そうした風情が感じられるところで暮らしたいと考えていたという。「始めは中古物件から探し始めました。でもなかなか納得のできる物件に出会えない。そんな時、古民家風の家を得意とする「ハウスランド社」のこのことを知り、レゾナント感覚で見学に行ってみることにしました」。

出かけたのは、筑紫野市にあるモデル住宅「風のくら」。築140年の古民家をスチール漆喰などを取り入れながらリノベーションした家は、Sさんの心を捉えた。「でもやっぱり気になったのは予算。その上で、土地も同時に探し始めました。その後、いくつか土地が見つかるも、素人では家を建てるにふさわしい場所がわからない。Sさんは思い切って「ハウスランド社」に相談することにした。「すると、すぐに測量に来てくれて、土地の見方などについて、いろんなアドバイスをいただけたんです。その後もいろいろ相談しているうちに、「予算に合わせて家づくりもできますよ」という言葉もいただいて、これも縁だと、建てることを決めました」。



「ハウスランド社」がつくれた
朝倉市在住 / Sさんの住まい

味わい深い古民家風の空間に
我が家ならではの個性を加えて

まるで旅館を訪れたかのように
ほっと落ち着けるSさんの家。
注文住宅だからこそ叶えられた
ひとつひとつのこだわりを
家族全員が大満足！



さまざまな風合いの木を組み合わせることで、古民家のような味わい深い空間が完成

house
家づくり
お宅訪問
knock 00

家づくりを後押ししたのは
誠実に親身なアドバイザー

家の前に水路が流れ、リビングの窓からは、なだらかな稜線を描く山々が一望できるSさんの家。古民家的な雰囲気は、まさにこの風景にぴったり。でも意外や意外、Sさんの口から飛び出したのは、「まさか自分が家を建てるとは思わなかった！」という言葉だ。

もともと夫婦ともに城下町や和の文化に興味を持っていたSさ



右/たっぷり収納できる靴箱のおかげで、玄関先はいつもすっきり。左/玄関からリビングへはガラスが美しい扉を開けて